

# クロバスだより

# 第236号

#### http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp

編集・発行:情報委員会

創立 1995 年 10 月 18 日

「参加して真に生甲斐の持てるクラブ」

**2014~15年度 テーマ ~先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう~** 

# 第 236 回例会

日 時: 平成27年6月11日(木) 16:00~17:30

場 所:八王子エルシィ

出席者:60名 出席率89.6%

(会員総数67名 休会1名 欠席6名)

1. 開会 田中例会委員長

例会・懇親会の案内・資料確認

#### 2. 土井会長挨拶



当期の例会は本日が最後となります。会長とは名ばかりで、皆さんの足を引っ張ってばかりの結果が多かったのではないかと心配しています。クラブのメンバーはそれぞれにスペシャリ

ストですから、私一人ではどうにもならない事も、 皆さんのあたたかいご理解とご支援で1年間が無事 に過ごせました。心からお礼申し上げます。

振りかえりますと学習サロンについては全く問題がなかったわけではありませんが、リピーターの減少は高齢化などにより、止むを得ないことと思います。新規参加者も増えましたが、それを上回って減少してしまったわけです。これからもサロンを魅力あるものにするためには、分かり易く楽しい内容にすることが望ましいと思います。

今年のサロンの話し手に、お二人の会員が再登場 されたことは良かったと思います。

宇宙の学校には多くの参加希望者があり、今後対応を考える必要があると考えています。

一年間、ご協力ありがとうございました。

# 3. 永井副会長からハッピーコインの披露 (5 ページに掲載)

#### 4. バースデーカード贈呈



今月は4 人の会日を記さられた。 廣瀬忠 市の子 顕 の 会員に池田

会員お手製のカードが会長より贈られました。(橋本 晴重郎会員は休会)

#### 5. 幹事報告



#### 武田幹事

土井会長からお話があったように2014~15年度最後の例会になりました。一年間お世話になりました。

総会までもう少し時間が有りますが、私たちの年度は20

周年記念事業の準備期間でありました。次期の役員、会員の協力でイベントの成功を期待しています。

20 周年の冊子では過去5年間の活動実績をまとめていますが、プロバスだよりが活動報告になっており、会の財産となっておりますので、これからもずっと続けて頂きたいと思います。一年間有難うございました。

#### 6. 次年度組織の報告 永井次期会長



5月の例会で11名の理事と2 名の会計監査の選任が承認されました。

去る 5 月 29 日、次年度理事会 を開催し、役職・理事分掌を決 定いたしました。同時に各委員 会に所属する構成メンバーも併せて選出いたしました。ご紹介しますので、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

#### 次期役員分掌(敬称略)

会 長 永井 昌平 副会長 岩島 寛 幹事 田中 信昭 副幹事 川村真 荻島 靖久 例会委員長 情報委員長 土井 俊雄 会員委員長 馬場 征彦 研修委員長 戸田 弘文 地域奉仕委員長 山崎 修司 交流担当 浅川 文夫 宇宙の学校リーダー 下山 邦夫 会計監査 有泉 裕子 会計監査 髙取 和郎

#### 次期副委員長(敬称略)

例会副委員長 東山 榮 野口 浩平 情報副委員長 八木 啓充 河合 和郎 会員副委員長 武田洋一郎 岡本 宝蔵 研修副委員長 石田 文彦 宮城 安子 地域奉仕副委員長 寺田 昌章 山口 三郎 宇宙の学校(サブリーダー) 吉田 信夫

#### 7. 委員会活動報告等

#### (1) 例会委員会 田中委員長

例会出席率の報告。

#### (2) 情報委員会 河合委員長

「プロバスだより第235号」をお届けしました。今 回の編集は東山副委員長によるものです。今月号は 特に写真が綺麗に入っています。

第19回学習サロン冊子は昨年と同じ48頁で発行できました。サロンのまとめは各話し手にお願いして、ご協力により全て2頁に収めて頂きました。

開講式・閉講式の講演録は各4頁ずつにまとめ、 読み応えのある内容をお届け出来ました。写真も色 校正により綺麗に仕上がりました。

7月発行予定の「プロバスだより 236 号」まで今期の委員会の担当です。よろしくお願いします。

#### (3) 会員委員会 岡本委員長

皆さんには新会員の募集にご協力たまわり有難う

ございました。

プロバスの適正会員数を70名台として、期初73名を目標とし、努力し、お願いもしました。期初は70名を維持していましたが、途中退会者4名があり、入会者は山崎さんお1人で、期末67名の結果となりました。その間、何人かのご推薦も頂きましたが、残念ながら入会には至りませんでした。

現在のプロバス会員の状況は、総数 67 名で、男性 52 名・女性 15 名です。新入会員は山崎光子会員、退会会員は中野・市川・鈴木弘昭・田中美代子会員の4名となりました。私は来期も会員委員会の副委員長として、責任を果たしたいと思いますので、さらなる推薦をお願いします。

お手元に会員名簿を回覧しています。来期の会員 名簿のための調査です。修正があれば朱字で訂正を お願いします。7月の例会に新規の名簿をお配りし ます。

#### (4) 研修委員会 石田委員長

特にありません。

#### (5) 地域奉仕委員会 寺田委員長

第19回生涯学習サロンのアンケート調査結果(一般会員)を配布しました。閉講式に配布、その日に回収したものです。

閉講式には111名の参加があり、さよならパーティーには93名の参加がありました。

アンケート調査のテーマ別の評価として、絵手紙と「懐かしの映画とその音楽」が好評でした。野外サロンの内容については「良かったが 76%」、費用も「普通」との評価を受けました。今後、会員のアンケートとも合わせて分析し、次年度のサロンに生かしたいと思います。

一年間にわたりご協力頂き有難うございました。

#### (6) 交流担当 浅川理事

立川会員から説明があります。

#### 立川会員

近隣との交流はありませんでしたが、全日本プロバスクラブの副会長として、6月5日に旭川PCの創立10周年記念式に、6月10日に川崎西PCの創立10周年記念式に出席しました。詳しくは「全日本プロバス協議会情報」の欄でお知らせします。

#### (7) 八王子「宇宙の学校」PJ 下山リーダー

既に新年度行事が始まっている。今年度会員募集

は、定員 170 名のところ 466 名の申し込みがあり、 抽選するしかない状態で、来年度への大きな宿題が 残った。6 月 28 日から東京工科大学を皮切りに事業 がスタートする。以上、途中経過の報告とする。

#### (8) 創立 20 周年記念事業準備委員会 杉山会長

創立20周年の準備については、毎月準備委員会を開催し、万遺漏なきを期しております。今日の例会では、第1テーマであります音楽鑑賞会が8月28日と迫っております。担当の立川会員から報告があります。

#### 立川会員

音楽鑑賞会については、4月に開催案内のチラシを配布し、5~6月で閉め切った。800席を埋めるために皆様に参加を呼びかけたところ、今回の集約で100席が不足する申し込み数となった。

そこで、6月の申し込みをもって以後はお断りし、 引換券は7月に配布する予定。申し込まれた方にお 願いしたいのは、余分な枚数を申し込まれた方はお 返し頂ければ助かる。

本件については、追加の席を防衛協会の方へお願いしたが、全体としても満席の予定とのこと。今後調整したうえで、6月現在の申し込みの方にできるだけ配付したい。

#### (9) 八王子「宇宙の学校」後援会 杉山会長

配布資料に基づき、八王子「宇宙の学校」後援会の活動につき、平成26年度事業報告・収支決算及び平成27年度の事業計画・収支予算について詳細な報告に加え、事業の現状等について説明があった。

宇宙の学校の事業は、始めて5年目を迎えた。報告にあったように、教室への応募者の状況などを見ると、次のステージをしっかり構築することが必要になってきている。次年度は別な方面から新たな展開を図りたい。

#### 8. プロバス賛歌斉唱

#### 9. 閉会の挨拶 永井副会長

今年度の最後の例会を終わります。一年間有難う ございました。終わりがあるということは始まりが あるということです。来月から新たなメンバーとと もにスタートします。皆様のご協力を宜しくお願い 致します。

# 懇 親 会

土井俊雄例会副委員長の司会で懇親会が開始された。土井俊玄会長から「楽しい懇親会をやりましょう」との挨拶に続き、吉田パスト会長の音頭で来期からの永井新体制が始まることを祝しつつ乾杯の発

声があった。

ACHIO1

続いてカラオケのど自慢があり、賑やかなうちに楽しい時間が過ぎた。土井会長のサービスを始め多くの会員の喉

自慢の 披露が

あり、さらに八王子プロバス クラブ4人姉妹の合唱に続き、





田中委員長と武田幹事 のデュエットで懇親会 を締めた。続いてステ ージには各委員会のメ

ンバーが登壇し、一年間のお礼の言葉があった。

各委員会委員長・委員挨拶(各委員会のメンバー は壇上に上がり、挨拶等を行った)

#### 情報委員会

河合委員長より:プロバス史上最強のメンバーが 揃い、委員全てがブロバスだよりの編集にたずさわ りました。毎月原稿をお願いし、ご協力を頂きまし た。一年間ありがとうございました。



#### 会員委員会

岡本委員長より:一年間ご協力頂き有難うございました。年期初73名まで増強をと考えていましたが



目標に達せず申し訳ありませんでした。途中4名の 退会者があり、入会は1名に止まりました。

その間、学習サロン参加者・一般の方々のご紹介 を頂きましたが、ご入会頂けることが出来ず大変残 念に思っています。来期も会員副委員長としてお世 話になります。宜しくお願い致します。なお休会中 でした阿部幸子会員が今日から復帰されました。

#### 研修委員会

石田委員長より:一年間のご指導とご理解を頂き



有難うございました。委員一人ずつマイクを持つべきかと思いましたが、山形さんの伴奏で思い出深い歌を 2~3 曲歌い挨拶に代えます。

#### 地域奉仕委員会

寺田委員長より:11名の委員構成でスタートしま したが、途中退会・入院欠席等もあり少人数で頑張 りました。



皆様の協力があったからこそ何とか成就することが出来ました。有難うございました。皆様の協力に深く感謝いたします。なお、ご協力頂いたアンケート調査については、整理した上で来月の例会で報告することとします。

#### 例会委員会



田中委員長より:一年間お世話になりました。皆様にご協力頂き何とか大役を全うすることができました。ありがとうございました。

### 宇宙の学校

下山リーダーより:関係機関・関係者の絶大なるご支援のもと、大きく育っています。宇宙を夢見て目標を抱く子供達が居ることを心強く思います。今後共皆さんのご支援をお願い致します。



# 三 役



#### 土井会長より:

一年間のご支援 に感謝申し上げま す。今日は山口副 幹事が都合で欠席 ですが、岡田事務 局長にお出ましをいただきました。次期も新しい会 長のもとご協力をお願い致します。

#### 交流担当

立川会員から全日本プロバス協議会の報告があった。内容は「全日本プロバス協議会情報」として、プロバスだよりに掲載する。

今後も、他地域との交流状況も含めて随時掲載 してゆく。





全日本担当 立川冨美代

1) 旭川プロバスクラブ創立 10 周年記念の祝賀会に参加

#### 記念式典

日 時:2015年6月5日16:30より

会場:旭川グランドホテル

参加者:130名

副市長、各ロータリー代表、商工会議所会頭、全 日本プロバス関係者が参加された。

さらに、友好クラブの大阪プロバスクラブから 10 名のメンバーが参加されていた。

挨拶、祝辞等式典は型通りに進められた。

記念事業:市立こどもランドにパンフレット展示台の目録が贈られた。

祝賀会 18:00より開始

親子三代の津軽三味線の演奏は圧巻であった。 祖父がプロバスの会員で、三代目の孫は昨年の全 日本津軽三味線の大会で優勝している。

また、祝い舞も親子三代であり、人材の豊富な ことが証明された。旭川の地酒、山海の珍味と素 晴らしい祝宴であった。

#### 北海道音楽大行進の見学

翌6日は市内で4,000人のブラスバンドの大行 進があり、小中学生、高校生、大学生、道警ブラ スバンドなどの演奏行進を堪能させてもらった。 しかし、真冬なみの寒さに驚き、震えながらの見 学であった。

旭川プロバスクラブはクラブ員が104名を数え、 若くパワー溢れるクラブであった。手厚い歓迎を 受け帰途についた。

#### 2) 川崎西プロバスクラブ 10 周年記念式に参加

日時: 2015年6月10日15:00より

会場:溝の口ホテルKSP

式典:挨拶、祝辞と形通り進んだ。

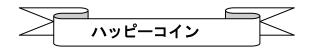
アトラクション:洗足大学院生によるカルテット で、清楚な雰囲気であった。

記念事業:川崎福祉協議会に10万円を寄付。

祝宴:17:00より始まり、珍しくコンパニオンが数名接待をしてくれた。

八王子プロバスクラブが、設立の折色々と相談に のったり、見学に来られたりしたので、10周年は 感慨深いものがあった。

創立時に45名あったメンバーが現在は25名となり、少し寂しい気がした。



- ◆3 人目の孫が 1 才になりました。この土曜日 に一升餅を背負わせますが、どうなることやら。 馬場 征彦
- ◆来週 上海へ小龍包 (ショーロンポー) を食べに行ってきます。 野口 浩平
- ◆学習サロンは皆様の絶大なる御協力で、何とか無事終了しハッピー。地域奉仕委員長も今月で終了するのでベリーベリーハッピー。1年間お世話になりました。有難うございます。

寺田 昌章

- ◆皆様のお陰で、何とか例会委員長をつとめる 事が出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。 有難うございました。 田中 美代子
- ◆2014~2015 年度も大過なく終期を迎えることが出来ました。会員の皆様のご支援に感謝申し上げます。 幹事 武田 洋一郎
- ◆土井年度の一年間に感謝して!!

杉山 友一

◆土井年度、御苦労さまでした。 永井 昌平



#### 忙中閑のオペラ鑑賞

#### 杉山 友一

生まれも育ちも八王子の土地っ子として、ふるさと創成への共感もあって、老人になっても我が日常は何かと忙しく手帳の予定表はいつも埋まっている。そんな中で、去る6月4日、はからずも家内同伴で新国立劇場オペラパレスを訪ねることが出来た。オペラと云えば、今までに出会った舞台の中では、ミラノスカラ座フルキャストによる日本公演、ヴェルディの「オテロ」全4幕(原作:シェクスピア)の感動が強く印象に残っている。

さて、今回鑑賞するオペラ「ばらの騎士」には、 お馴染みの八王子出身のソプラノ歌手田中三佐代さんも出演すると云うことで、入場券の手配も彼女に お世話頂いたものである。公演は、初日が当初4月 予定だったものが5月24日となって、当日が5回 公演の最終日だったが会場は満席状態である。幸い お世話頂いた舞台前方中央席は文句なしの一等席で ある。

演目の「ばらの騎士」は、20世紀初頭のウイーンの上流社会を舞台に、過ぎゆく時の流れや、若い新しい愛をテーマに描かれたリヒヤルト・シュトラウスの傑作と称される作品である。今回の公演は、監督と出演者たちの主力メンバーはウイーンを中心にヨーロッパで活躍中の実力者たちで、加えてそれを支える日本のオペラ界の陣容という仕立てである。

オペラは16世紀の末頃に音楽と文学が融合した ギリシャ悲劇を再現する試みとしてイタリアのフィ レンツエで生まれたと云われ、その後の長い発展期 を経た歴史の産物としての今がある。3時間を超え るほどの長編作品を克服してゆく無類の体力、精神 力、そして人間業とも思えない歌唱力が演出する最 高のパフォーマンスは文字通り客席を魅了し引きつ けて離さない。来日の主役たちの声量、音域、音質、 磨き上げられた響き、輝き、風格、全てに夫々が個 性的で、しかもマイクで増幅されない生の声は、全 ての楽器に勝る第一級の楽器と云われる所以がよく 解る。

舞台は25分間の2回の休憩を挟んでの3幕構成

で午後6時少し過ぎに幕が下りた。最後のカーテンコールは、万雷の拍手の渦のなか、何度も何度も繰り返されて、まさに興奮のエンディングとなった。 日本側の出演者の一人として我々に身近な田中三佐代プロは、期待通りやはりこうした大きな舞台がよく似合う人だった。

全てが終わっての感想として、ふと、西洋の伝統的オペラの対岸に、日本の重要無形文化財でもある伝統芸能の代表格、歌舞伎の舞台があるという思いがした。西洋のエスプリに満ちたおしゃれな舞台に対峙して、東洋日本に固有独特な伝統文化の仕掛けがあるというわけである。ともに味わえる日本人はまさにご同慶の至りというほかはない。ときに、西洋のオペラはやがて、軽歌劇・喜歌劇ともよばれ、より身近な作品が多いとされるオペレッタや、音楽・歌・セリフ・ダンスなどを結合させ、盛り沢山なエンターテイメント技術を駆使したミュージカルの世界へと人々の楽しみの場を広げてきた歴史を持っている。いつの時代でも人間の楽しみ追求は無限大である。それ故にまた健康長寿でありたいという人の願望も尽きることはない。

#### ≪恩師≫ 素晴らしきかな!

飯田 富美子

私には多くの恩師がいますが中でもすばらしい恩師が1人居られます。長い間私の心をしっかり見守り続けてくださる大切な恩師です。来年卒寿を迎えられる矍鑠として、おしゃれでダンデイーな高校時代の恩師、石川源朗先生です。

先生とは 60 年前私が山梨県立甲府第一高等学校に 入学した時に出会い、1 年時と 3 年時の受持ちとして、



3年間は生をです。というでは、大学生の大学をでかります。というでは、32歳のかりのでは、32歳のが、40歳のは、40点のでは、4

す。そのため今でも少しも変わらず、ネクタイ背広姿 の背筋がピンと若々しく、その風貌は高校時代と変わ らないお姿であり我々の誇りでもあります。

先生は現役最後が山梨県教育長の要職にあり県の教育行政に多大な業績を残されました。退任と同時に箱根駅伝で有名な山梨学院大学の経営の一翼を担ってこられました。先生のすばらしさは言葉では言い尽くせませんが、卒業時にクラス会の名前を「日新会」と命名して頂いてから隔年で宿泊旅行を開催しています。すでに28回になります。京都や奈良、浜松など遠方でも開催してきましたが最近は先生のお近く山梨県内で開催しています。

日新会は校是である「日に新た、日々に新た、また日に新た」にちなんで付けられたもので、その「心」は今もなお我々卒業生に引き継がれています。

プレ日新会も友人の経営する「花桃園」で毎年春に観桃会として開催しています。先生の卓話と学友たちの近況報告等を伺い健康を確認しあいます。昨年の卓話は「方丈記」を、今年の卓話は「徒然草に学ぶ」を、用意してこられたプリントで勉強。食後は先生のお嬢さんの弾くピアノに合わせて懐かしい歌を合唱、「学生時代」・「春の小川」・「花」etc。最後に参加者20名がハンドベルを持っての合奏。一瞬にして高校時代にタイムスリップして齢も忘れておおはしゃぎです。先生も我々もこの時期の最高の楽しみになっています。

先生から折につけ頂く手紙はいつも励ましと感動 が沢山詰まっています。

素晴らしい恩師に恵まれた幸せは、これまでの私の人生を心豊かにし、さらに"素敵に輝いて素敵に生きる"という私のモットーの原動力にもなっています。先生には益々ご壮健にお過ごしいただけることを学友と共に念じながら……。

卒寿なる恩師と集う花桃園 花桃や集う学友華やげり

#### 小島善太郎記念館を訪ねて

#### 美術鑑賞同好会

5月30日、会員12名で百草園近くにある日野市 立小島善太郎記念館を見学しました。眺めのよい高 台にあり、趣のある庭からは富士山、丹沢山系の山 並みが見えます。 小島画伯は八王子の加住(現丹木町)に 40 年住んだ後、ここ百草に移られ91歳で亡くなられました。 八百屋の小僧をしていた頃、得意先の中村陸軍大将に絵の才能を見いだされ、その支援を受け画家の道へ進むことができた、というエピソードに古き良き時代を思います。

夢美術館の常設コーナーに作品が展示されています から、その素朴で誠実な画風はみなさんもよくご存 じでしょう。青梅市立美術館、記念館の3館で主な 作品を見ることができます。

現在アトリエと住まいは日野市に寄贈されており、 画伯の次女、敦子さんが市の職員やボランティアの 方たちと管理・運営に当たっておられます。

今回のプロバス参加者の中に、敦子さんと同窓生で教職の後輩でもある廣瀬さんがいらしたおかげでしょうか、手厚いおもてなしを受けました。

にじり口からお茶室へ案内され、しばしの歓談の後、 ふすまを開けると色彩溢れるアトリエが現れます。

「読書する女」「清春風景」「桃」などのお馴染みの名作の数々が、四方の壁面いっぱいに無造作に飾られています。机や椅子、絵の具類、蒐集品、愛用の品々がいたる所に置いてあり、手に取って拝見できます。住まいの方にも作品や書簡、記念の品が飾られていました。その奥の間で昼食を取り、本格的なお点前でお薄をいただきました。

父である小島画伯を敬愛し、その作品を守り業績



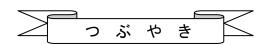
を後世に伝えていきたいという館主の熱い思いに触れた充実の一日でした。車庫に一台の赤いガウディ、ナンバーの中にある数字、「88」は館主の実年齢と聞きました。感服。

お隣の百草園は、紫陽花にはまだ早く、園内は人 影も少なく静かです。散策の後は木陰でゆっくりと くつろいで帰途につきました。

車を出してくださったみなさん、お世話になりました。 ありがとうございました。

小島善太郎記念館の開館日は、毎週土曜日、日曜日、祝日のみです。入館料300円。館の駐車場はありませんが、足の不自由な方は事前に連絡すると配慮してくださいます。

お元気なみなさんは、あの有名な急坂にぜひ挑戦 なさってください。 (池田ときえ 記)



#### クラブのさらなる発展を目指して

今年8月、私達は戦争から解放されて70年目を迎えます。会員の平均年齢が76歳前後、空襲を覚えている人も僅か数人程度かも知れません。会員の多くは、あの高度成長時代を、それぞれの企業や集団の中で、優れたリーダーとして健闘され、胸を張って職を辞された人達だと思います。問題はそれからの人生をどう生きるかと言う事です。

江戸時代の平均寿命は 40 歳程度、明治時代でも 44 歳。戦後、昭和 25 年頃でも 50 歳を僅かに超え る程度です。戦争が終わっても、肺炎、結核など感 染症による死亡率が高かったのです。それがサルファ剤やペニシリンなどの抗生物質をはじめ、多くの 医薬品の開発、衛生環境や食糧事情の改善などで、この半世紀の間に平均寿命が著しく伸び、女性が 86 歳を超え、男性も 82 歳を超えました。

仮に定年が 65 歳になったとしても、それから約 20 年余をどう過ごすかが大問題です。学習サロンの 開講式に、来賓の方が「老いて益々教育(今日行く)と教養(今日の用)が無いと困ります」という話を されましたが、あらかたの会員は職場を離れてから の日常の変化に戸惑いを経験された事と思います。 プロバスは、高度経済成長の牽引車として活躍され てきた諸兄を仲間として迎える「受け皿」として誕生した得難い集団で、今年、創立 20 周年を迎える ことになりますが、昨今、新人会員が定着しなかったり、中堅会員の中からも、運営方式の改善を望む 声が聞かれるようになりました。運営方式の改善が 必要のようです。新役員の方々に、全会員で話し合う機会を作って欲しいと願っています。 (F・S)

#### 俳句同好会便り

#### 私の一句~6月の句会から

河合 和郎

我がプロバス俳句同好会が俳句専門の月刊誌「俳句四季」7月号に紹介されている。山形会員の紹介によるものだが、一躍全国的に……とは面映ゆい限り。しかし、話題の一つには違いない。これを機に更に活発な同好会に成長できたら万々歳だ。

#### 一升餅負ふて泣く子や梅雨晴れ間 馬場 征彦

一歳の子に「一升餅」を背負わせ、健やかな成長 を願う。一生食べ物に困らない祈願とも。

#### 梅雨近し米櫃が空米を買ふ 渋谷 文雄

日常生活の一コマ。何の変哲もない日常だが妙に 説得力がある一句。米櫃も懐かしい言葉。

#### 紫陽花の潤む藁屋や人絶へて 山形 忠顕

紫陽花が潤むように咲いている。しかし、住み人 の姿はない。限界集落と言う言葉が浮かぶ。

#### 七十路の迷ひて捨てず衣更 石田 文彦

だれでも同じような体験をしている。慌てること はない、また来年が来る。終活は難しい。

#### そら豆のさや太々と雨上る 池田ときえ

最高点句。そら豆の丸々肥えた姿。正に「さや太々」 である。絵心が俳句作品に生かされた。

#### せせらぎを早瀬に変へて大雪渓 田中 信昭

雪解け水のダイナミックな流れが浮かぶ。大雪渓 とせせらぎ。大景と小景の対比がいい。

#### 御陣乗太鼓ひびくや加賀の朱夏 飯田冨美子

旅の感動を一句に。「加賀の朱夏」で場所と季節を 表現。太鼓の音が迫ってくるような臨場感。

#### 危機煽り戦支度や夏の陣 河合 和郎

戦後七十年。戦争を知らない世代が国の舵取りを。 盾と矛からは平和な世界は生まれてこない。

編集後記 プロバスだよりの編集を情報委員 全員で月々分担しました。最後の236号を受け 持ちました。編集作業は初めてで、苦労しまし た。お読み苦しい点はご容赦を。 (竹内賢治) 情報委員会の一年がようやく終わりました。 全員参加の編集で皆さんにはご苦労が多かっ たようです。一年間ありがとうございました。 ご協力にひたすら感謝です。 (河合和郎)